



Matsunaga Head Line News

[マ ツ ナ ガ ・ ヘ ッ ド ラ イ ン ・ ニ ュ ー ス]

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075

MATSUNAGA 感動創造建設会社

2021年5月発行 発行元:松永ホールディングス 発行人:松永大祐
www.matsunaga.gr.jp

2021 May Vol.44

総合建設を基盤とする松永建設は
地域の暮らしを守るインフラ整備に携わる

地域の安全

【インタビュー】松永建設 青谷肇 営繕部長、中山雅央 統括工事長／南彩農業協同組合 組合長 菊池義雄様

【竣工物件】日本工業大学宮代キャンパス／JA南彩春日部支店／GRANSITE 神田司町／etc

CONTENTS

地域の安全

総合建設を基盤とする松永建設は、地域の暮らしを守るインフラ整備に携わる

- P02 [INTERVIEW & PROPERTY] 青谷部長・中山統括工事長／竣工物件
- P03 [INTERVIEW & PROPERTY] 南彩農業協同組合 菊池組合長／竣工物件
- P04 [PROPERTY] 竣工物件
- P05 [PROPERTY & CIVIL ENGINEERING] 竣工物件／土木物件
- [SNS] 松永建設 Youtube チャンネル
- P06 [TOPICS] 入社式・新入社員研修／ラジオCM
- [COLUMN] 松永社長の男気コラム(レースレポート特別編)



株式会社松永建設 〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号
TEL: 0120-980-633 FAX: 048-798-0075 www.matsunaga.gr.jp

※新型コロナウイルス感染症対策の為に検温機と消毒液を社屋入り口に設置しております。ご協力お願い致します。

INTERVIEW & PROPERTY [インタビュー&竣工物件]

松永建設人としての意識



青谷 肇
Hajime Aoya
営繕部長兼
総合建設
専務取締役

＜PROFILE＞[プロフィール]

社歴: 38年目
趣味: ぶらり旅
好きな食べ物: 鰻(国産)

青谷 営繕部は、既存のお客様に対する修繕・リフォームの提案や水のトラブルなどが発生した際にお客様の元へ駆けつけ、対処を行うことでお客様の信頼を得てビジネス展開をしています。また松永建設内には営業部門もありますが、営繕部では新しいお客様との接点を作るきっかけ作りにも一役を担っております。

お客様との信頼関係を築く上で、法人・個人のお客様との継続的な関係を続けていくことが私たちの使命ですので、現在営繕部の各担当全22名が、お客様の要望の本質を引き出すためにお客様に寄り添う事。これを大事にしております。表面的な要望に対応する事ではなく、その要望の奥にある本質を引き出すことが重要と私は思っております。本社に掲示されている言葉で“ドリルを買いに来た人が欲しいのはドリルではなく穴である”という言葉があります。そのお客様はドリルが欲しいのではなく、穴が必要であることが本質的な要望なのです。じゃあ私たちは何をするのか。ドリルを売るのではなく、穴を開ける方法の提案をすることが、私達のやるべきことなのではないのかと考えています。お客様には予算があるので、その予算の中で本質的な要望を叶えるにはどうしたらいいか？ をお客様と一緒に考えていくことが営繕部の使命の一つです。

営繕部のメンバーはもちろん松永建設の看板を背負ってお客様の対応をしているので“松永建設人”としての意識を持った上でお客様と接する。営繕部は営業も兼ねていますので、自分で仕事を受注し、自分で工事をし、お客様から対価をいただく。ですので、接し方や身なりを松永建設人としての意識を持って行う事です。

また営繕部では、食品関係のお客様も多くコロナ禍でのお客様の状況、環境に合わせた対応を意識しております。この2つの意識が営繕部の生命線と考えて日々の業務に取

り組んでおります。お客様あつての松永建設ですから、お客様が納得するものを提供していく事。シンプルな事ですが、これが一番だと考えています。

中山 建築事業部東京支店は、私を含めて13名在籍しています。部門の主な業務は、東京都内のマンションの新築案件の現場管理です。その中で部門の責任者として統括工事長をしています。営業部門が、新築案件を不動産開発事業者(デベロッパー)に提案をし、受注に至ります。不動産開発事業者の要望をくみ取り、その中で当社の仕様をベースにすることで、コストを抑え、工期も要望に応えることが可能になります。

直近で私が携わった印象的な現場は、営繕事業部の部門長をしていた頃の日本工業大学内装改修工事です。工期は、2019年8月から2020年9月までで改修工事としては長期間の現場でした。営繕事業部の部門長の業務と並行しての現場管理の業務でしたので、逆に部員に部門長の業務のサポートをしてもらい、部門内でも協力しながら完工させた現場でした。40室ほどある教室や事務室等を、1室から3室ごとに、施工と引っ越しを繰り返しながらである事と、コロナ禍での工事となりましたので、学校行事の予定変更が多くありました。追加工事でトイレの改修工事を頂いた事、夏季休暇中に廊下やホールを施工する予定でしたが夏季休暇日自体が減少するなど、工程の調整に大変苦労しましたが、密に打合せを行い、お客様にご協力頂き、無事に完工させる事が出来ました。

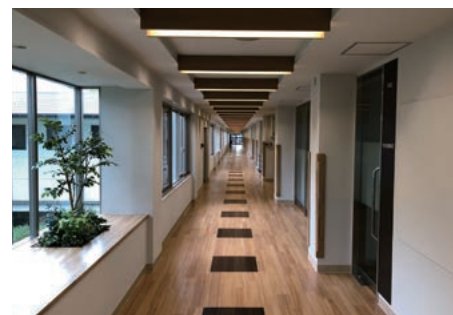
現在も、コロナ禍で様々な臨機応変な対応が求められることがあります。お客様との話し合いや打合せを密に行い、お客様の要望と現在の環境と状況に合わせた対応を今後も務めていきます。

＜PROFILE＞[プロフィール]

社歴: 31年目
趣味: ゴルフ
好きな食べ物:
うなぎ、焼き鳥、野菜



中山 雅央
Masao Nakayama
建築事業部東京支店
統括工事長



▶ 日本工業大学宮代キャンパス ◀

〈発注者: 学校法人日本工業大学様〉

DATA

- ☐ 建設地: 埼玉県南埼玉郡
- ☐ 工事内容: 内装改修工事

INTERVIEW & PROPERTY [インタビュー&竣工物件]

新本店でつなげる感謝の言葉

私たちの農協という組織は、歴史も古く、農業者によって組織された協同組合であります。今では、JAという愛称で皆さまに浸透されております。JAは、農業者である組合員の営農に必要な肥料農薬などの資材を供給する経済事業や、より良い農産物を生産するための営農指導事業、また農業者の皆さまが丹精込めて生産したお米や野菜・くだものといった青果物を消費者へお届けする販売事業があります。さらに、組合員や地域の皆さまの身近な金融機関として貯金や融資業務を行う信用事業や、「ひと・いえ・くるま」の総合保障をサポートする共済事業など組合員や地域の皆さまの生活に欠かせない様々な事業を展開しております。

JA南彩は平成8年に旧岩槻市・旧春日部市・蓮田市・白岡市・宮代町・久喜市・旧菖蒲町の7つの市・町のJAが合併し、JA南彩として誕生しました。令和3年は、合併25周年とい

う節目の年を迎えることになり、この節目の年に当組合の本店が久喜市菖蒲町から春日部市へ移転することになりました。そして今回、当JAの春日部支店新築工事と新本店として使用するための旧春日部支店改修工事をご縁があつて松永建設に施工して頂くことになりました。設計監理をお願いした全農さいたま設計事務所の方々をはじめ、松永建設の担当者の方には、毎週のようにご指導頂き、綿密な打合せを重ね、1年以上続くコロナ禍の状況でありましたが、スケジュール通りに対応して頂き、大変感謝しております。施工して頂いたこの店舗が、今後当JAの顔になることに期待をしております。

私たちの農業を巡る環境は年々変化しており、特に農業生産者の高齢化に伴い、担い手不足による生産基盤の縮小がみられます。埼玉県有数の梨産地として、新たに梨栽培を目指す方へのサポートとして梨栽培塾を開講し、年間23回の講座を開催しております。梨栽培塾は、11年以上にわたって、毎年30名前後の受講生が技術習得に努めており、最近では、多くの女性も参加しております。岩槻地区では、葉物野菜を中心に若手農業者が生産に取り組んでおり、最近ではヨーロッパ野菜の研究会も発足し、熱心に栽培され注目を集めております。当JA管内は、農業者の高齢化もみられる一方で、梨・いちご・野菜など青果物が大変豊富です。若手農業者も元気に消費者の皆さまに喜んでもらえるよう日々生産に取り組んでおります。地域で生産された農産物を地域の方に消費して頂くことも地域貢献につながるものであります。

私たちJAは、「食」と「農」と「環境」を守り、地域社会の発展に貢献する事業活動を展開し、いつまでも必要とされるJA南彩、皆さんのお役にたつJA南彩として取り組んでまいります。当JAでは、合併25周年の特別企画や南彩ロゴマークを



菊池義雄様 Yoshio Kikuchi
南彩農業協同組合 組合長

募集しました。デザイン化された際には是非、松永建設に『感動・創造』のもてるロゴマークを当JAの正面玄関に掲げて頂きたいと願っております。最後になりますが、改めて松永建設には誠心誠意ご尽力頂きまして、感謝しております。今後も松永建設と当JAの関係が良好となりますよう末永く宜しくお願いいたします。



◀JA南彩本店移転に伴いオープニングセレモニーが行われました。



▶ JA南彩春日部支店 ◀

〈発注者：南彩農業協同組合様〉

DATA

□ 建設地：埼玉県春日部市 □ 構造：地上2階、S造 □ 用途：金融機関
□ 建築面積：368.71㎡ □ 延床面積：590.00㎡

INTERVIEW & PROPERTY [インタビュー&竣工物件]



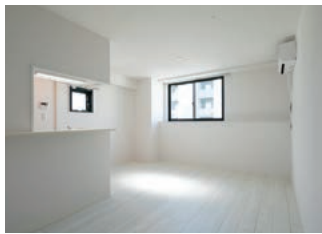
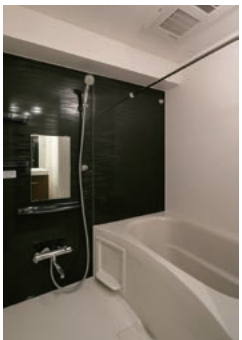
▶ M様邸 ◀

〈発注者：M様〉

DATA

□ 建設地：埼玉県さいたま市 □ 構造：地上2階、S造 □ 用途：住宅

□ 建築面積：188.14㎡ □ 延床面積：276.05㎡



▶ GRANSITE神田司町 ◀

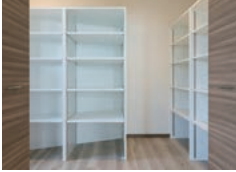
〈発注者：PT様〉

DATA

□ 建設地：東京都千代田区 □ 構造：地上12階、RC造 □ 用途：共同住宅

□ 建築面積：113.76㎡ □ 延床面積：948.16㎡

PROPERTY [竣工物件]



▶ 中村クリニック ◀

〈 発注者：医療法人財団額田会様 〉

D A T A

- 建設地：東京都港区 □ 構造：地上4階地下1階、S造 □ 用途：診療所
- 建築面積：83.41㎡ □ 延床面積：405.77㎡

CIVIL ENGINEERING [土木現場]



▶ 川口陸橋 ◀

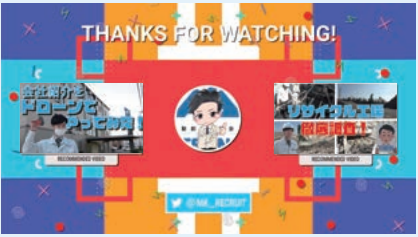
〈 発注者：埼玉県 〉

D A T A

- 建設地：埼玉県川口市
- 工事内容：橋りょう修繕工事

YouTube Channel, Twitter [ユーチューブ・チャンネル／ツイッター]

松永建設のYouTube、Twitterが始まります



QRコードから
アクセスしてね！

▶ まつけんチャンネルのマス
コットの丸ちゃん。これから
松永建設グループの情報をド
ンドン紹介していくよ。

まつけんチャンネル



SNSを展開することで今まで建設業＝固いというイメージを壊し、親しみ・親近感を持ってもらうことを目的としています。これまでの採用手法(ナビ媒体)にとらわれず、新しい手法としてSNSマーケティングを展開して、多くの層に当社情報をお届けし、興味を持っていただけるよう取り組んでいます。また、YouTubeについては、建設業は人手不足も大きな問題となっておりますので、小さなお子さん含めて多くの方に当社のYouTube動画をご覧いただき、建設業に興味・関心を持ち、将来建設業界で働きたい！！ と思ってもらうことも大きな取り組みです。

TOPICS [トピックス]

入社式・新入社員研修

2021年4月1日、松永建設グループでは 13名の新入社員を迎えました。

いまだ収束の兆しがみえない新型コロナウイルスの状況を受けまして、今年の新入社員研修は初めての試みとして在宅リモート主体による研修を実施いたしました。社会人として必要なビジネスマナーはもちろんのこと、会社の歴史など当社の理解を深めました。感染予防対策の為、屋外に限定した現場・工場見学を行い、興味津々で真剣にメモを取っている様子が印象的でした。最終日は研修で学んだ事をテーマに3分間スピーチによる発表会を実施しました。

緊張しながらもたくましい姿を見せてくれました。これからの松永建設グループの将来を担う新入社員の成長を温かく見守りたいと思います。



Radio Advertising

松永建設グループのラジオCMが リニューアル致しました。

NACK5 79.5FM <https://www.nack5.co.jp>

松永建設グループのラジオCMがリニューアル。今回のラジオCMも前回同様、松永社長を始め、表彰者を中心とする社員が皆様の朝に元気な声をお届けしております。松永建設グループの新しいラジオCMをどうぞお楽しみください。



▲上記の写真はラジオCMの収録をする松永社長と社員達。感染予防対策を徹底した上で、和やかな雰囲気での収録が行われました。CMは毎朝8時26分頃、交通情報の後に流れます。

COLUMN [コラム]

RACE REPORT SUPER TAIKYU 2021

松永社長の 男気コラム

〔レースレポート特別編〕

ついに掴んだ初表彰台が初優勝に!!

— 参戦1年で磨いてきた速さとチームワークが結実 —



松永建設グループが応援する、片岡龍也選手率いるレーシングチームTKRI (Tatsuya Kataoka Racing Invitation) が、スポーツランドSUGOで開催されたスーパー耐久シリーズ2021第2戦「SUGOスーパー耐久3時間レース」に参戦した。悲願の表彰台を目指し、迎えた2021年シーズンは第1戦となったツインリンクもてぎで、その速さは見せつつも展開に恵まれなかったTKRI松永建設AMG GT4。今回の第2戦SUGOはテクニカルコースで、DAISUKE選手と元嶋佑也選手のふたりのドライバーで挑むことになった。

4月16(金)の公式テストを元嶋選手がクラストップで終え、迎えた4月17日(土)の公式予選では、早朝から雨が降り出し、ウェットのコンディションであったが、Aドライバー予選ではDAISUKE選手が果敢にタイムを上げ、6番手と素晴らしいアタックを展開する。続くBドライバー予選では元嶋選手がアタックを決めるが、他車に引っかかってしまったこともあり4番手。クラス7番手となったが、翌日の決勝に向け、チームは明るい雰囲気です選日を終えた。

4月18日(日)の決勝レースでは、晴天ではあるものの強風が吹き荒れるなか、スタートドライバーを務めた元嶋選手がスタート直後からいきなり魅せた。元嶋選手はその風に乗るかのよう1週目には6番手に浮上すると、どんどん順位を上げ、8週目には3番手となり一気に表彰台圏内へ浮上する。激闘を繰り広げ、続くDAISUKE選手に交代すると、安定したペースでラップを刻み終盤までトップを守る走りを見せ、39周の長丁場を走り抜き、再び元嶋選手にステアリングを託した。参戦以来目標としてきた「表彰台」というチームの思いを乗せた元嶋選手は上位争いが激化する中、3番手から猛然とオーバーテイクして再びトップに浮上し、残り12分ほどの超スプリントもトップを死守し、万感の思いでフィニッシュラインを通過した。

TKRI 松永建設AMG GT4が、参戦からちょうど1年というレースで、ついに初表彰台、しかも初優勝を飾る。表彰式では、DAISUKE選手は渾身のガッツポーズを見せ、二人三脚で歩んできた元嶋選手と、夕暮れが迫るSUGOでガッチリと抱擁を交わした。

